

平成 27 年 8 月 13 日

川崎市教育委員会委員長 峪 正 人 様

## 中学校給食ではエレベーターを活用して食缶を上階に運ぶことができるように 求める請願

ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会 代表

櫻井 悦子

川崎市幸区

### 請願の趣旨

川崎市では、2015 年度中に東橋中学校で中学校給食がいよいよ始まることを心から喜んでいました。私たちは、長年にわたって「中学校給食の実現」を求めて、数千、数万の市民の声を、請願署名にして、数次にわたり、川崎市や川崎市教育委員会に提出をしてきました。平成 29 年度の全校実施まで、貴委員会の「中学校給食の基本方針」4 項目の実現の努力を期待しています。

また、南部給食センターの事業者も決定し、いよいよこれから、今までは検討段階とされていた多くの実施方法が具体化される段階を迎えました。

中学校の現場では、給食時間の設定、安全な食缶などの配送、食教育の展開、給食事務負担など多くの課題が山積しています。

その中の一つに、「教室までの食缶の配送」の課題があります。自校方式の市内小学校では、給食配送用のダムウェーターで上階まで運んでいます。調理員が各教室前まで運び、担任に引き渡すまでしている学校もあります。給食準備時間の短縮、安全・安心の確保のために大事な業務です。

ところが、中学校では、ダムウェーターは新設しないとの方針です。

私たちが見学した千葉市の中学校では、1 階の配膳室から教室まで中学生が食缶を運んでいました。安全の確保のために、廊下や階段に教職員が立ち番をしていました。これと同じような方法を想定しているのでしょうか。一方、江戸川区中学校では、上階の教室前まで食缶を運ぶ方式で実施されました。どちらの方法が、給食時間の短縮、安全・安心の確保のために優れた方法かは明らかです。

私たちは、先日、川崎高校附属中学校の配膳室などを見学しました。そこでは、給食センターから届いた給食用コンテナを、既設のエレベーターで上階まで運び、中学生が受け取りにくることを想定していました。専用ダムウェーターがなくても、この方法があったのだということが分かりました。

市内 5 2 中学校では、3 6 校にエレベーターが設置されています。付属中の方法と同様に、既設エレベーターの活用を検討していただきたいと要望します。

また、未設置の 1 6 校についても、学校施設長期保全計画に基づき、順次、設置が計画されていますが、最優先での設置計画を検討していただきたいと要望します。

既設エレベーターで、給食用コンテナを運ぶためには、もう一つの検討課題があります。川崎付属中のエレベーターの出入り口幅は、900mmと1200mmあり、これなら、センター事業者が作成予定のコンテナの横幅（注）が入る想定です。

注：2014年11月に市教委が提案したPFI事業をすすめるための要求水準書では、添付資料の11で、コンテナのサイズの案が示されています。

これによると、コンテナの横幅は、900mmになっています。

しかし、川崎高校以外の既設のエレベーター35校のうち、10校のエレベーターの出入り口幅は、900mm、25校のエレベーターの出入り口幅は、800mmと狭く、事業者が作成予定のコンテナは収容できないことが懸念されます。このままでは、せつかく検討の末に、既設エレベーターを活用しようという結論になったとしても、運ぶことができません。

これから作成されるコンテナのサイズについて、既設エレベーターで運ぶことも想定したサイズにするように、事業者との調整を要望します。

### 請願項目

1. 中学校給食では、給食配送用のコンテナを、既設の学校エレベーターで運べるように検討してください。
2. エレベーター未設置の学校に対しては、学校施設長期保全計画を前倒して、できるだけ早期に設置できるように検討してください。
3. 事業者が作成するコンテナのサイズが、既設エレベーターで運べるように調整をしてください。



エレベーター整備状況 平成27年6月現在 市教委提供資料より作成

	校名	保有数	規格	出入口幅
1	大師	1	①	800
2	南大師	0		
3	川中島	1	②	900
4	桜本	1	①	800
5	臨港	0		
6	田島	1	①	800
7	京町	0		
8	渡田	0		
9	富士見	1	②	900
10	川崎	0		
11	南河原	1 予定	②	900
12	御幸	0		
13	塚越	1	①	800
14	日吉	1	②	900
15	南加瀬	1	①	800
16	平間	1	②	900
17	玉川	1	①	800
18	住吉	0		
19	井田	1	②	900
20	今井	1	②	900
21	中原	0		
22	宮内	1 予定	②	900
23	西中原	1	①	800
24	東橋	4	② ⑤	900
25	橋	1	①	800
26	高津	1	①	800
27	東高津	0		
28	西高津	1	①	800
29	宮崎	1	①	800
30	野川	0		
31	有馬	1	①	800
32	宮前平	1	①	800
33	向丘	1	①	800

エレベーターの規格ごとのサイズ				
規格	間口	奥行	高さ	出入口幅
規格①	1400	1350	2300	800
規格②	1400	1350	2300	900
規格③	1400	1100	2300	800
規格④	1600	1500	2300	900
規格⑤	1050	1520	2300	800
規格⑥	1500	2300	2300	1200

34	平	0		
35	菅生	0		
36	犬蔵	0		
37	稲田	0		
38	枅形	0		
39	中野島	1	①	800
40	南菅	1	③	800
41	菅	1	①	800
42	生田	0		
43	南生田	1	①	800
44	西生田	1	①	800
45	金程	1	①	800
46	長沢	1	①	800
47	麻生	1	③	800
48	柿生	1	①	800
49	王禅寺中央	1	①	800
50	白鳥	2	①	800
51	はるひ野	1	②	900
52	川崎高校付属中	2	④ ⑥	900

コンテナサイズについて

PFI 事業をすすめるための、「要求水準書」

(2014年11月) 添付資料11から

コンテナのサイズ

W×D×H 900×(1450+取手部分?)×1650